

活用例 1 幼児期～入学②

お子さんの年齢	7歳
通っているところ	特別支援学校に入学 放課後等デイサービスにも通っています。

【ファイルを使ってみて…】

特別支援学校や
デイサービスに新たに
通うときに、今までの経
過など、ファイルを見せ
ることで、何度も説明す
ることがなくなりました。



母

フェイスシート等の
記入により、あらためて
出生時からのことを振り
返りながら、現在の成長を
感じることができる点は、
保護者にとって良いも
のと思われます。



児童発達支援センター

幼児期の様子や
お家での今までの関
わりがまとまっており、
すぐにお子さんの療育支
援を考えることがで
きました。



放課後等デイサービス



児童発達支援センター〇〇

H〇〇年 〇月 〇日記入 記入者：〇〇 〇〇

通っている児童発達支援センターの様式で、同様の内容が記入されているので、その資料をサポートシート1「現在の様子」に代え、綴っています。

氏名		〇〇 〇〇	利用開始年月日
療育目標		好きなことから遊びや興味の幅をひろげていく できたという満足感をもって、自分でもやってみようとする	
現在の状況	健康状態・出席状況	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した登園ができています ・登園中に発作が見られ、発作の起きた時間や発作の状態、落ち着くまでの時間、その後の発作の有無などを把握し家族と共有している 	
	家族の関係	父・母・兄の4人家族。父方祖父母が同居しており協力を得られている	
	あそび	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら体位を変えて興味のあるもののほうをむくことができる ・おもちゃなどを提示すると手を出しつかみ、口元で確かめようとする ・右手のほうが動かしやすいが、両手であそぶこともできるようになってきて、音のなるおもちゃのボタンを押すことができる ・スライムや絵の具など、いろいろな感触に触れる経験を積み重ね、受け入れることができる物の幅が広がっている ・揺れの激しい遊びを好み、声を出して笑い楽しむ 	
	排泄	おむつ使用 全介助	
	着脱	全介助	
	食事	<ul style="list-style-type: none"> ・全介助 ・ミキサー食を経口摂取。水分はとろみが必要。 	
	言語・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の様子がよくわからないと不快になり、発声で伝える。その時に、ピアノなどの好きな音が聞こえたり、音が鳴るおもちゃがあると気持ちを切り替えることができる ・お友達の声を聴いて楽しくなり、一緒に声を出している ・大人の声を聴き分け、問いかけにこたえるような発声も多い ・表情や発声、身体を動かすことで快・不快を表現する 	
	その他	てんかん発作があり、ほぼ毎日発作がある	

サポートプラン

作成日：H〇〇年〇〇月〇〇日

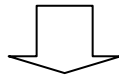
作成者： 母

作成補助機関名：札幌市学びの支援委員会

現在の様子	
<ul style="list-style-type: none"> ・自ら音がなるおもちゃのスイッチを入れて遊ぶ ・トランポリンなど揺れたりして遊ぶことが好き ・周りの声を聞き、真似をして一緒に声を出したり、遊んでいる近くの友だちに手を伸ばして関わろうとする 	
支援に生かすことのできる本児のよさ	
<ul style="list-style-type: none"> ・大人とのスキンシップが好き ・音楽を聞くことが好き 	
本人や保護者の願い	
<ul style="list-style-type: none"> ・色々な人の介助に対応できる力をつける ・快/不快をまわりにしっかりと伝えられるようになる ・毎日楽しく元気に暮らしてほしい ・必要な時に適切な医療を受けられる環境にいてほしい 	
長期目標	支援の手だて
目標達成の目途（ 小学部2年生 頃までに）	
<ul style="list-style-type: none"> ・場面に応じた感情の表出の仕方を身につける ・興味、関心のあることを増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して過ごせる環境を整え、人との心地よい関係を作りながら、感情を表出する機会を増やす ・身体面やてんかん発作などに配慮をしながら、好きな活動を多く取り入れるなどして、楽しく遊ぶ経験を積み重ねる

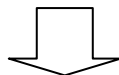
活用例 1 幼児期～入学②
【サポートシート4】

短期目標	支援の手だて
目標達成の目途（ 小学部1年生の終わる 頃までに）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族以外の人とのかかわりを通して、様々な方法で気持ちを表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 盛んに気持ちを表現することで、自分の思いが伝わった経験を積み重ねる。 ・ 伝わったという満足感を持ち、さらに表現手段を増やしていく



成果と課題

短期目標	支援の手だて
目標達成の目途（ 小学部1年生の 終わる 頃までに）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 好きな遊び、楽しいと感じる遊びを増やしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周囲の様子を伝えながら、様々な遊び方や楽しみ方を体験していく



成果と課題

サポートマップ

作成日： 年 月 日

<p>医療</p> <p>〇〇こどもクリニック (小児神経科 〇〇先生)</p> <p>〇〇病院 (小児科 〇〇先生) (PT 〇〇先生) (ST 〇〇先生)</p>	<p>〇〇特別支援学校</p> <p>教育</p>
<p>療育</p> <p>放課後等デイサービス〇〇</p>	<p>父方祖父母が同居</p> <p>家庭</p>
<p>福祉</p> <p>・ 居宅介護事業所 〇〇 ・ 〇〇短期入所事業所</p>	<p>地域</p>
<p>相談機関</p> <p>・ 〇〇相談室</p>	<p>(就労)</p>

本人・保護者